

第30回

名古屋大学附属図書館友の会
トークサロン

ふみよむゆふべ

「余輩とは吾輩のことかと猫が言い」

：漱石の本の話

かたり：高野 彰（博士（日本文化）、
元跡見学園女子大学教授）

夏目漱石は『吾輩は猫である』を書くと、雑誌『ホトトギス』に載せます。一回の読み切りのつもりが、予想外の反響で、連続執筆することになるばかりでなく、連載中に最初の本が出ました。以後、第二巻、第三巻と続きます。この人気は衰えることを知りません。『漾虚集』の初版が明治三十九年五月に出たとき、『吾輩』の訂正第六版の広告が載っています。漱石が死去すると、大正七年には全集が、そして著作権がなくなると、堰を切ったように、様々な出版社からの出版が相次ぎます。近年は文庫本がブームですが、その中には『吾輩』が忘れずに入っています。これらの本を目の前にしたとき、皆様はどれを手にしますか。一緒に選んでみましょう。

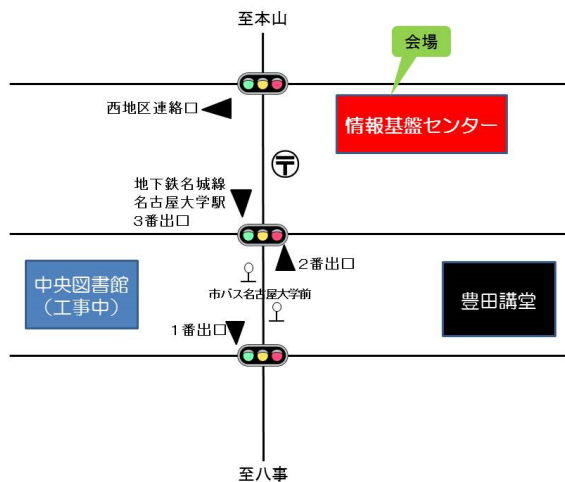


※『吾輩は猫である』の文庫本をお持ちの方はご持参ください。

2013年11月12日(火) 午後6時～
名古屋大学情報基盤センター4階演習室

参加無料
申込不要
会員以外の方も
歓迎します

これまでと会場が異なります！！



(後援) 名古屋大学附属図書館、
同 研究開発室

名古屋大学附属図書館友の会
TEL 052-789-3666 FAX 052-789-3693
E-mail tomo@nui.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.nui.nagoya-u.ac.jp/tomo>